

中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.134

Platts 海上に加え陸上も指標公表へ

9月13日に開催された Platts の説明会でのテーマは大きく分けて2つです。

ー メールマガを書いている時点では、PPTの資料が手元にありません。また、終了後の英語での会話で、正確かは不安ですー

A : 海上の MOC が9月20日より ICE の eWindow で成約、決済

B : 陸上の要件公表の第一弾 ⇒ 要望を聞いて修正。現時点12月開始、早まる可能性もあり？

A : 海上の MOC が9月20日より ICE の eWindow で成約、決済

■ 現状 : MOC は一部手作業が存在

⇒ 買手、売手の対応が大変

⇒ 今以上の bit, offer の処理は難しい

■ 9月20日より : MOC への入力

⇒ ICE の eWindow に自動的に飛ぶ

⇒ 人手を介さずに成約

■ ICEって何？

Intercontinental Exchange Inc (NYSE: ICE) です。

皆さん、世界一の規模を誇るニューヨーク証券取引所 (NYSE) をご存知ですよ？

NYSEや商品市場等の巨大市場を傘下に持つ、米国の世界一の市場会社です。

石油業界のエクソンみたいな会社。市場のエクソン？かな？

対抗は WTI を公表し、シカゴの先物市場と合併したニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX)

NYMEX は、石油業界のシェルかな？

・・・読者にわかり易く説明したつもりですが、表現が不適切ならごめんなさい・・・

WTI は NYMEX が、

北海ブレントは ICE が公表しています。

日本の石油製品の海上物もこの ICE の eWindow で自動取引になるということです。

B : 陸上の要件公表の第一弾 ⇒ 要望を聞いて修正。現時点12月開始、早まる可能性もあり？

■ 概要は以下です。

- 評価地点は東京湾岸の2か所 : 神奈川 (川崎+横浜)、千葉 (中京、阪神は対象外です)
- 対象製品 : ガソリン、軽油、灯油、高硫黄A重油 (低硫黄Aではないので、間違えないで下さい)
- 対象数量 : 100kl~200kl
- ローリー出荷地 : TG川崎、JX根岸 (以上神奈川) コスモ千葉、TG千葉、出光千葉、富士袖ヶ浦 (以上千葉)
- 時間
 - 12:30 ----- 気配値公表
 - 13:30まで ---- Bit, Offer が可能
 - 13:30~14:00 - MOC (Platts の HP で実名公表) その後に Platts が評価して公表
- 参加者 : 実名で bit, offer を公表 (成約のみではありません)

参加者は、成約条件を実行可能と Platts が認定した会社に限られます。財務内容や今までの実績等海上物に比べてハードルは低くなると想像していますが、中小企業は参加できない会社もあると思います)
- 成約した場合 : 売手が出荷地を指定⇒買手はスケジュールを指定
- 受渡 : 翌日から7日間
- 予定スケジュール : 10月初めまで要望等を聴取。12月に開始

■ 中澤 : 当日伝えた要望 --- 英語で伝えているので伝わっているか心配です ---

- 100kl ⇒ 50kl への引下げ (TOCOMでのヘッジを前提 + SSの参加の容易性確保)
- 実名は維持 (透明性の確保には必須。PRAでも必要) 匿名にして参加者を拡大するより、高い透明性を優先すべき (公正で透明な指標が必要であり、MOCの参加者の数より、透明性を優先すべきという私の考えです)
- 開始時期を10月に前倒し
- 将来的な、中京、阪神を評価地点に加えることの公表

12月公表の前倒しの要望

12月は、1年を通じてのSSの一番の繁忙期です。
12月公表開始で元売が対応した場合のSSの対応が不可能です。
9月20日に海上の MOC が eWindow と連携します。
12月というのは、陸上物の MOC の eWindow の対応時期ではないかと想像しています。
12月以前の公表 : ICE の eWindow に対応しない Platts 独自の MOC を避けたい。

中澤の見解

5月～9月まで海上物は ICE の eWindow に対応しない Platts 独自の MOC
⇒ 9月20日～ eWindow に対応
⇒ 10月～11月は、ICE の eWindow に対応しない MOC でも何とか可能ではないか？
(海上物と陸上物が入れ替わるだけですから・・・)

なお、陸上物で、MOC を使用して評価するのは世界初だそうです。(米国、欧州、シンガポールの海上物は MOC)
透明性の確保+eWindow との連携+PRA 対応で、米国等の陸上物評価とは異なる方法を採用したのではと推定しています。
(私の語学力では、詳しくは聞けませんので、ごめんなさい)

10月に仕切はどうなるか？定修3ヶ所、停電停止2ヶ所で、東名阪の需給は？

8月29日	西部石油	(12.0万bbl/d)	定修入り
9月8日	JX麻里布製油所	(12.7万bbl/d)	停電停止：再開の見込立たず
9月8日	出光愛知	(17.5万bbl/d)	同上
9月15日	JX根岸	(27万bbl/d)	大規模定修、全面停止予定・・・再開への不安の声多し
9月中旬	コスモ四日市第6	(6.9万bbl/d)	定修予定
10月より	TG和歌山	(13.2万bbl/d)	定修予定

9月中旬より、各社のトッパー停止が凄い状況になってます。
予定通りもあり、予定外もあり。予定外は偶然にも火災ではなく、停電停止です。ビックリです。

東名阪及び山口の製油所で精製が全部又は一部でストップしています。
春先の定修時期より、停止率が高いのではと思ってます。

JXは、市中買い+輸出削減で製品不足に対応しているとのこと。9月は大幅減販ですが、今後、需給がさらにひっ迫してくることが予想されています。10月の仕切大幅改定の噂も根強く、要注意です。

この状況下では、海上物 (TOCOM、Platts海上、海上RIM) が跳ね上がり、ラックが後追いする可能性が強いです。

出光の昭シェル株取得が少し遅れます

9月3日 出光の大株主の公益財団二つ：

議決権行使を過半数 ⇒ 2/3以上に引き上げ (公益財団維持のため)

出光美術館は理事 8名中 6名の賛成で議決権行使可 = 3人が反対すると不可

出光文化福祉財団は理事数が判りません

9月5日 両財団の評議員、理事の方々に経営統合に関する説明を書簡にて申入れ

9月8日 昭和シェル株の取得時期の延期：9月中 ⇒ 10月から11月中 (予定)

理由：本株式取得に関する企業結合審査の状況について検討の上、今後の手続きに要する期間を勘案

(公取委審査の遅れが理由とも取れるが、今後の手続きに要する期間が理由か？判りません)

沖縄の南西石油の株式が再入札中：元売り4社+商社1社が応札か？

⇒ この結果が、公取委の問題解消措置 (合併の条件) に影響を与える可能性は大です。

⇒ 公取委の結論は、入札の結果が判明した後になる可能性が高いと私は思います (私見です)

上記の精製停止等を見ると、

10月から2強+1の体制に近づいているような気がします。

経営統合と仕切大改革は同時並行的に進行しています！